

浜松医科大学動物実験施設の利用案内

医用動物資源支援部のホームページも参考にしてください。

[光先端医学教育研究センター 医用動物資源支援部 | 国立大学法人 浜松医科大学 \(hama-med.ac.jp\)](http://www.hama-med.ac.jp/about-us/mechanism-fig/pmperc/lab-animal/index.html)

<https://www.hama-med.ac.jp/about-us/mechanism-fig/pmperc/lab-animal/index.html>



施設への入退方法

入退はIDカード（職員証、学生証等）を使用してください。

入館



退館



- カードリーダーにカードをかざすと自動ドアが開きます。
- **教育訓練の受講者のみ入退館できます。**
- 施設は24時間利用可能です。

施設内での履物



- スノコの上は靴を脱いで上がってください。
- 外履きは下駄箱に入れてください。
- 内履を履いて入館してください。
- **ネズミ返し**がありますので注意してください。

外部利用者の入退館記録



- 外部利用者は台帳に必要事項を記入してください。

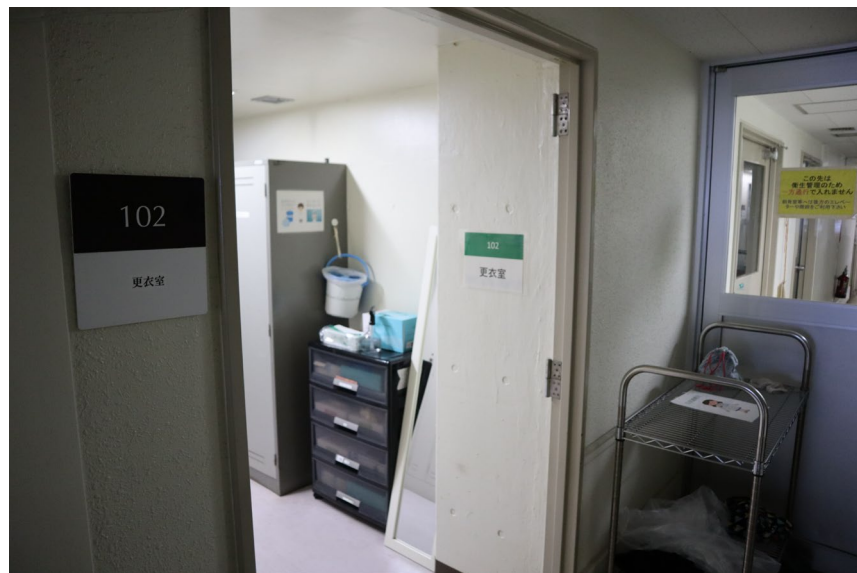
施設内での着衣①



- ・施設内では、**研究室等での白衣を脱いで**、施設専用の白衣に着替えてください。
- ・着てきた白衣は玄関前か更衣室（102号室）のロッカーに入れてください。



施設内での着衣②



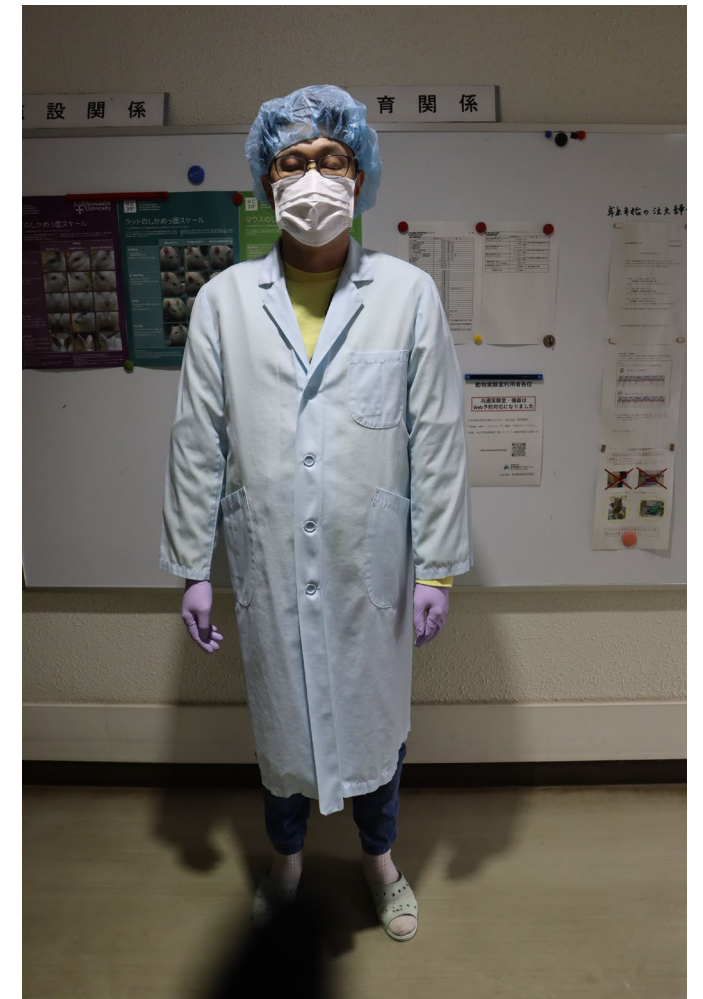
- 102号室で施設専用の白衣に着替えてください。
- 白衣は各種サイズがあります。



施設内での着衣③



- マスク、キャップ、手袋は更衣室と各階に用意してあります。
- 飼育室等に入るときは白衣、マウス、手袋、キャップを着用してください。



施設内案内

- ・ 施設は1階から4階まであります。
- ・ 新棟へは2階から行けます。

旧棟

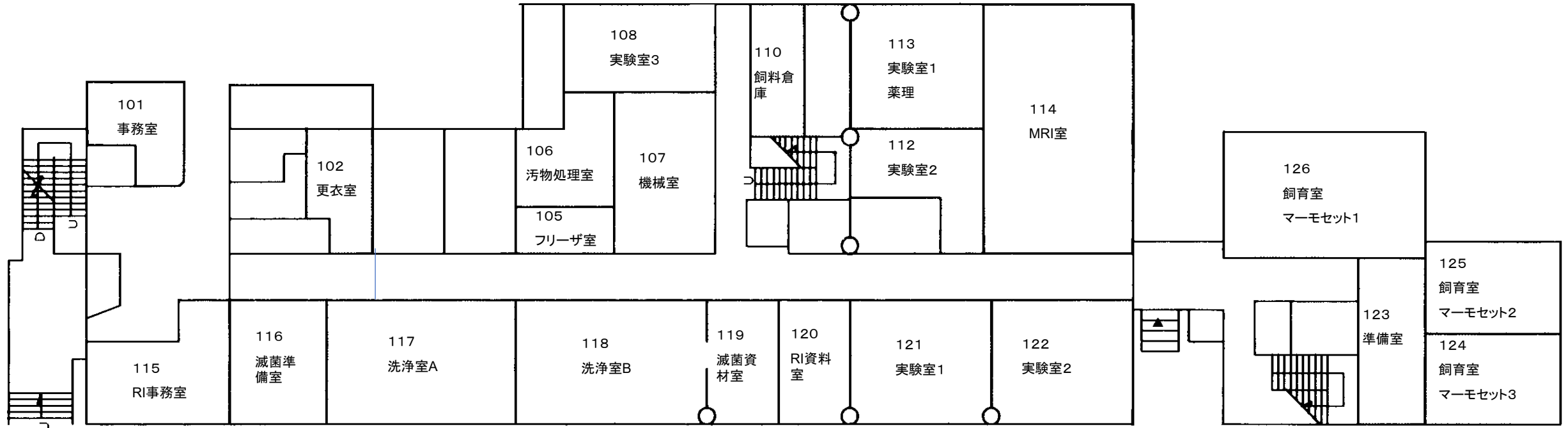
- ・ 1階：受付、洗浄室、滅菌準備室、MRI室
- ・ 2階：実験室、CT室、レントゲン室
- ・ 3階：動物飼育室
- ・ 4階：感染実験室

新棟

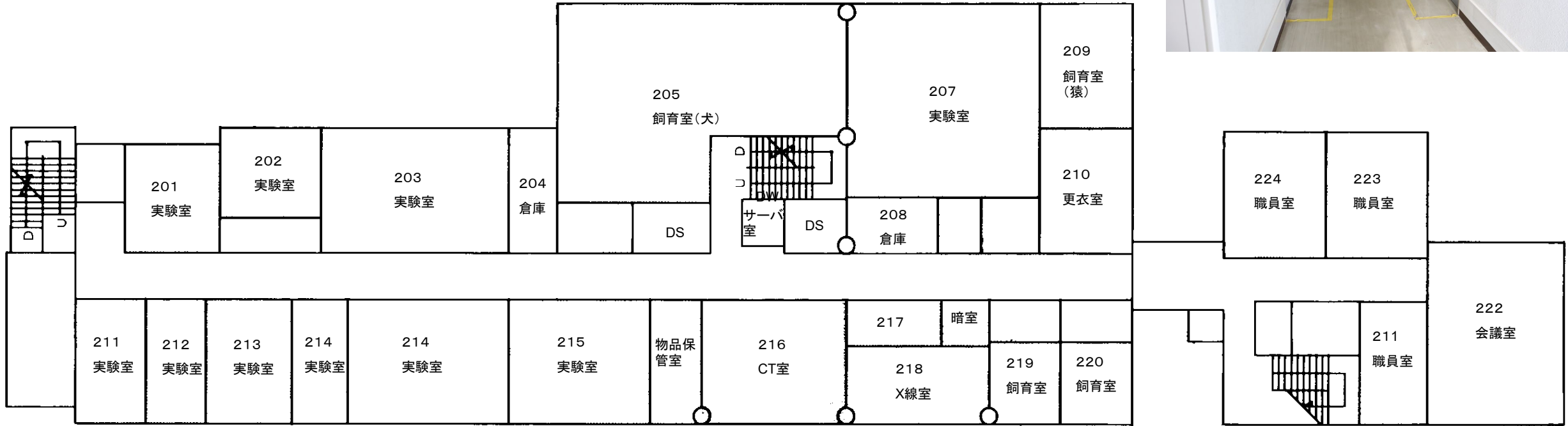
- ・ 1階：動物飼育室
- ・ 2階：会議室、職員室
- ・ 3階：共通実験室
- ・ 4階：動物飼育室



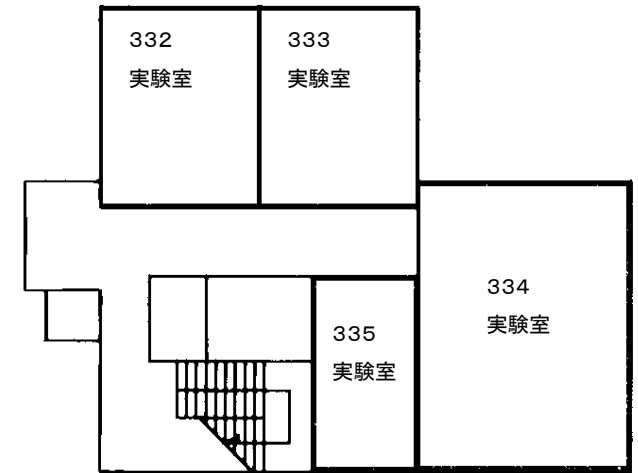
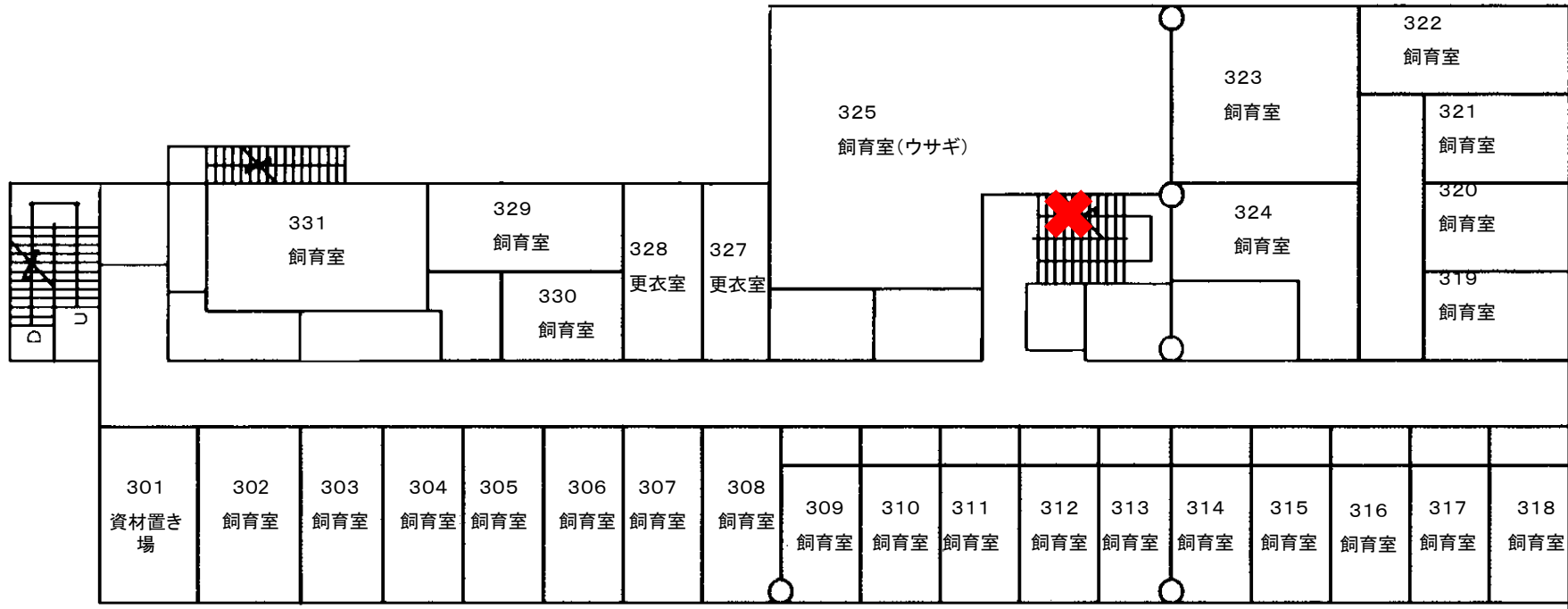
1階



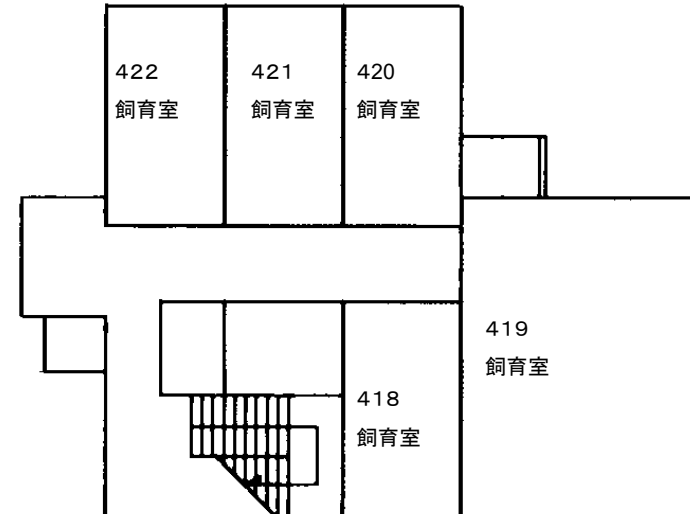
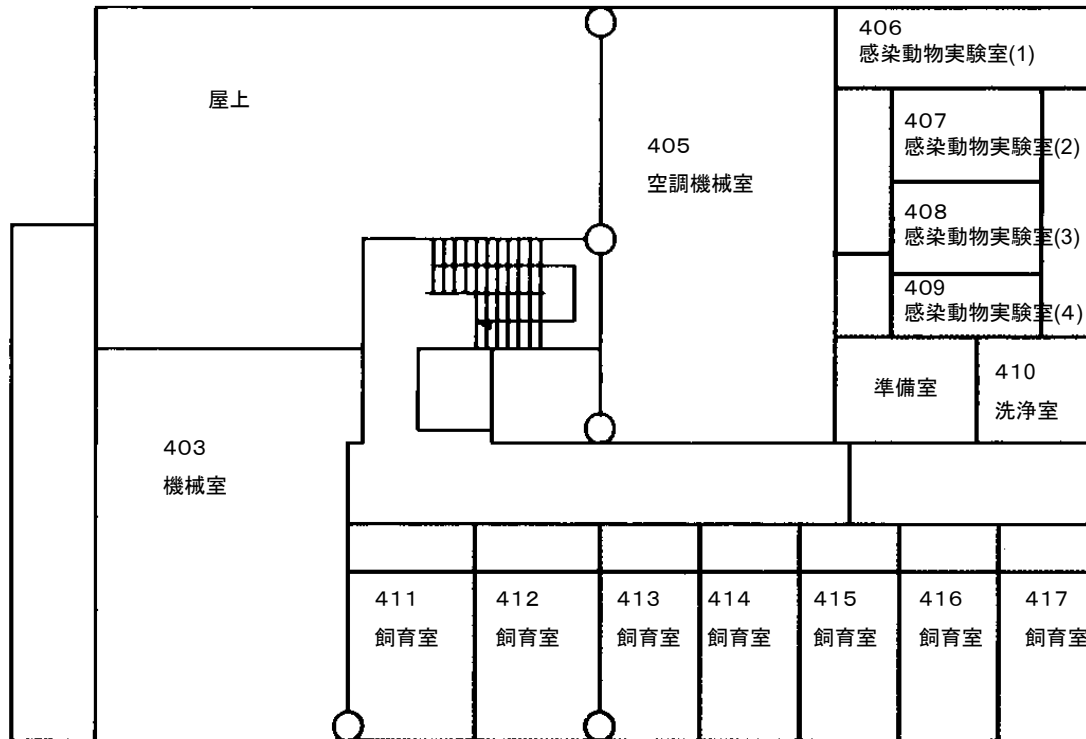
2階



3階



4階



事務室



- 1階に事務室があります。
- 受付は平日、9時から12時、13時から16時までです。
- それ以外の時間帯、または担当が不在の場合は内線2486に電話してください。
- 資料室のカギ、実験室のカギの貸し出しを行っています。

ケージバンドの注文・施設内の忘れ物



- ・事務室横にケージバンドの注文票があります（100円/本）。必要事項をご記入ください。
- ・忘れ物もこちらにありますので確認してください。貴重品は事務室で預かっています。



＜光先端医学教育研究センター＞

医用動物資源支援部

動物資源管理部門

施設利用料

区 分	利用料金(円)	備 考
小分け飼料	620	1kgにつき
モルモット飼育受託費	32	1日、1頭につき
ウサギ飼育受託費	137	1日、1頭につき
イヌ飼育受託費	248	1日、1頭につき
サル飼育受託費	257	1日、1頭につき
マーモセット飼育受託費	72	1日、1頭につき
ラット飼育受託費	28	1日、1頭につき
マウス（小ケージ）飼育受託費	41	1日、1ケージにつき
マウス（中ケージ）飼育受託費	56	1日、1ケージにつき
ブタ飼育受託費	300	1日、1頭につき
精子凍結保存	8,000	1年、1件につき
精子凍結	10,000	1件につき
KPバッグ大	350	10枚につき
KPバッグ小	200	10枚につき
ケージバンド	100	1本につき
（滅菌準備費）		
マウスケージ（小サイズ）	11	1個につき
マウスケージ（中サイズ）	22	1個につき
マウスケージ用フタ（小サイズ）	4	1個につき
マウスケージ用フタ（中サイズ）	5	1個につき
マウス給水瓶（空）	10	1個につき
マウス給水瓶（滅菌水詰）	11	1個につき
ラットケージ	55	1個につき
ラットケージ用フタ	10	1個につき
ラット給水瓶（空）	22	1個につき
飼料の滅菌	22	1kgにつき（5kg単位切り上げ）
使用済小ケージ	10	1個につき
使用済給水瓶	10	1個につき
使用済小フタ	4	1個につき
中ケージフタ処理	5	1個につき
中ケージ処理	22	1個につき
アルミケージ洗淨費	10	1個につき
アルミケージフタ洗淨費	5	1個につき
特別滅菌小	100	1個につき
特別滅菌中	200	1個につき
特別滅菌大	300	1個につき
特別滅菌特大	400	1個につき
フィルター代	1,000	1つあたり1か月につき
持ち込み飼料	330	1kgにつき
カニクイザル獣医師料	2,100	1ヶ月1匹あたり
動物手技講習代	2,000	1件につき

胚凍結	36,000	1件につき
〃	27,000	1件につき 目的の受精卵が得られなかった場合
凍結精子・胚輸送	20,000	1件につき 配送料及び返送料は別途依頼者負担
体外受精による個体生産	86,000	1件につき
〃	44,000	1件につき 目的の産仔が得られなかった場合
遺伝子改変動物作成（in vitroエレクトロポレーション法）	124,000	1件につき
〃	41,000	1件につき 目的の遺伝子改変個体が得られなかった場合
遺伝子改変動物作成（マイクロインジェクション法）	180,000	1件につき
〃	100,000	1件につき 目的の遺伝子改変個体が得られなかった場合
遺伝子改変動物作成（in vivoエレクトロポレーション法）	107,000	1件につき
〃	30,000	1件につき 目的の遺伝子改変個体が得られなかった場合
In vivo imaging system (Lumina III)	1,400	1時間につき 吸入麻酔使用時
〃	600	1時間につき 吸入麻酔非使用時
遺伝子改変動物遺伝子解析（DNA抽出/PCR/シーケンス解析）	5,500	1時間につき
〃	2,000	追加1個体につき（計8個体まで）
P2細胞培養室（安全キャビネット・インキュベーター）基本使用料	70	1回につき
P2細胞培養室（安全キャビネット・インキュベーター）	50	1時間につき 基本利用料に加算
実験補助利用料	1,100	1時間につき

飼育資材の注文

[光先端医学教育研究センター 医用動物資源支援部 注文票・動物購入申込書など](#)

各種書類の電子版について

電子書式は書類で異なりますので注意してください。なお、メール（animal-order@hama-med.ac.jp）を送る際、下記の件名を必ず記入してください。

書類名（メールの件名）	電子書式
1. 注文票	注文票.xlsx
2. 実験動物購入申込書	申込書.xlsx
3. 動物搬入許可願（動物実験委員会、高林に事前連絡のこと）	動物搬入許可願.docx
4. 再搬入許可願	再搬入許可願.docx
5. 機器搬入許可願	機器搬入許可願.docx
6. 特殊飼料使用願	特殊飼料使用願.docx
7. 凍結精子搬入許可願	凍結精子搬入.docx
8. ドライシッパー貸し出し	凍結精子輸送.docx
0. 講座コード	講座コード20231006.xlsx

- ・ 飼育資材の注文はメールでお願いします。
- ・ 医用動物支援部ホームページ上の注文票をダウンロードして使ってください。

<https://www.hama-med.ac.jp/about-us/mechanism-fig/pmpperc/lab-animal/about.html>

注意1：印鑑が必要な書類はカラスキャンし、PDF版を送ってください。

注意2：書類の書式（項目の位置・順番、フォントサイズ、入力位置など）を変えないでください。

注意3：ケージ・飼料等の注文は、少なくとも使用する日の1週間前までにお願い致します。

注文票

お願い：この申込書は、使用日の少なくとも**1週間前**までに提出してください。

注文票

所属	動物実験施設
発注者氏名	高林秀次
発注者電話番号	2001
発注者メールアドレス	shuii@hama-med.ac.jp

発注日	使用日	講座コード	飼育器材・飼料の使用者	飼育室番号 (飼料を使用する飼育室)	注文品コード (下記の表)	数量 (数字のみ入力)
(注意①)	(注意①、②)	別シート参照				
3.7	3.13	35	高林	219	401	20
3.7	3.13	35	高林	219	302	139
3.7	3.13	35	高林	219	101	110
3.7	3.13	35	高林	219	102	20

備考：記入欄が10行で足りない場合は各自で行を増やしてください。

注文品とコードの対応表

コード番号	マウス飼育器材
101	マウスケージ(小サイズ)
102	マウスケージ(中サイズ)
201	マウスケージ用フタ(小サイズ)
202	マウスケージ用フタ(中サイズ)
301	マウス給水瓶(空)
302	マウス給水瓶(滅菌水詰)
コード番号	マウス・ラット飼料
401	未滅菌(Kg単位)
402	滅菌済み(Kg単位)
コード番号	その他(依頼)
501	飼料の滅菌(Kg単位)

連絡事項等欄

- 注文票はエクセルファイルをダウンロードして使用してください。
- 注文票ではケージ、フタ、餌、給水ビンの注文ができます。
- 使用する**1週間前**までにメール (animal-order@hama-med.ac.jp) で注文してください。
- 記入例を参考にして、ケージ、フタ、給水ビンの必要数を記入して下さい。

3階の滅菌資材置き場



- 3階301号室に滅菌資材置き場を設けてあり、**注文資材**が収容されています。
- 旧棟、3階、4階で動物を飼育する人はここから注文した資材をもって行ってください。
- 袋のラベルで講座名、利用者名、注文数等を確認して、使用して下さい。



2階の滅菌資材置場



- 2階209号室に更衣室、滅菌資材置場を設けてあります。
- 旧棟2階、新棟4階で動物を飼育する人はここから注文した資材をもっていらしてください。
- 袋のラベルで講座名、利用者名、注文数等を確認して、使用して下さい。

滅菌準備室A



- ・入室の際は白衣、マスク、キャップ、手袋を着用して、靴を履き替えてから入室してください。



- ・飼育器材を自分で準備する場合
ケージ、フタ、給水ビン、チップ等を各自用意して下さい。
- ・ケージ・フタ・チップ等は全てオートクレーブ滅菌済みです。
- ・収容されている器材はすべて共同です。
- ・器材を持ち出す場合、布製の滅菌袋に入れて下さい。
- ・滅菌室に台車を入れる場合、消毒液を全体に噴霧して下さい。

滅菌準備室Aでのマウスケージの準備



- ・ マウスケージに滅菌済みチップを約2 cm位の高さに入れ、最上部に空のケージをのせます。
- ・ タテ1列に最高15ケージ入ります。
- ・ ケージ、フタ、給水ビン等の器材を入れた後、袋の口をひもでしばり、滅菌状態を保ちながら飼育室に運搬します。
- ・ 飼育室内に入れる際には、袋の表面（特に底）をアルコールなどで十分消毒して下さい。

動物の購入について

[光先端医学教育研究センター 医用動物資源支援部 注文票・動物購入申込書など](#)

各種書類の電子版について

電子書式は書類で異なりますので注意してください。なお、メール（animal-order@hama-med.ac.jp）を送る際、下記の件名を必ず記入してください。

書類名（メールの件名）	電子書式
1. 注文票	注文票.xlsx
2. 実験動物購入申込書	申込書.xlsx
3. 動物搬入許可願（動物実験委員会、高林に事前連絡のこと）	動物搬入許可願.docx
4. 再搬入許可願	再搬入許可願.docx
5. 機器搬入許可願	機器搬入許可願.docx
6. 特殊飼料使用願	特殊飼料使用願.docx
7. 凍結精子搬入許可願	凍結精子搬入.docx
8. ドライシッパー貸し出し	凍結精子輸送.docx
0. 講座コード	講座コード20231006.xlsx

注意1：印鑑が必要な書類はカラスキャンし、PDF版を送ってください。

注意2：書類の書式（項目の位置・順番、フォントサイズ、入力位置など）を変えないでください。

注意3：ケージ・飼料等の注文は、少なくとも使用する日の1週間前までにお願い致します。

- 通常の動物は、各自で日本エスエルシー、日本クリア、ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン等へ注文してください。
- 動物の購入の際にはメールで連絡をお願いします。
- 医用動物支援部ホームページ上の動物購入申込書をダウンロードして使ってください。

<https://www.hama-med.ac.jp/about-us/mechanism-fig/pmperc/lab-animal/about.html>

実験動物購入申込書

提出日(必須) 令和6年1月5日

お願い：この申込書は、動物搬入日の少なくとも1週間前までに提出してください。

実験動物購入申込書

1. 申請者の情報

氏名(記入必須)	高林秀次	(連絡がつく方が申請者になってください。)		
講座名(必須)	医用動物	講座コード(必須)	35	(別表の講座コードを参照してください。)
内線番号(必須)	2001	携帯電話	080xxxxxxxx	E-mail(必須)
				shuii@hama-med.ac.jp

2. 実験動物の情報

動物種 (必須)	系統名 (必須)	齢 (必須)	体重 (任意)	メス	オス	雌雄不問	微生物状態 (必須)	動物業者名 (必須)	飼育室番号 (必須)	搬入日 (必須)注	講座コード (必須)注	受付番号 (施設Only)
				(必須、数字のみ)								
例 マウス	C57BL/6	4週齢	5				SPF(下記欄)	CLEA(下記欄)	XXX	15.09.18	35	
1 マウス	ICR	6週齢	21				SPF	SLC	219	24.1.18	35	
2												
3												
4												
5												

3. 発注の情報

動物業者(ブリーダー) (必須)	連絡の有無 (必須)	動物業者へ発注した日 (有の場合は必須)	連絡者の氏名 (必須)	備考	略記
例 日本CLEA	有	9.24	刑部光利	SPF:SPF動物 Conv:普通動物 NT:未検査	CLEA:日本クレア CRJ:日本チャールズリバー SLC:日本エスエルシー その他(フルネームを記入)
1 SLC	有	12月15日	高林秀次		
2					
3					
4					
5					

注:入力方法
については、
記入見本を
参照のこと

注:別表の講
座コードを参
照のこと

4. 動物実験計画書情報 (学長承認が得られた動物実験計画書に基づいて記入してください。)

動物実験責任者氏名 (必須)	高林秀次		
動物実験実施者氏名 (5名まで必須)	高林秀次		
学長承認番号(必須)	22-008	受付番号(任意)	(例:H20-XXXX)

5. 連絡事項等 (動物購入に際し、1~4に該当しない事柄について必要に応じて書いてください。)

- 実験動物購入申込書はエクセルファイルダウンロードして使用してください。
- 搬入日の1週間前までにメール (animal-order@hama-med.ac.jp) で連絡してください。
- 記入例を参考にして、動物種、系統名、匹数などを記入して下さい。
- 動物の搬入数はデータとして保存していますので正確にお願いします。

3階の購入動物置き場



- 3階301号室に購入動物置き場を設けてあり、各社から搬入された動物が収容されています。
- 旧棟、3階、4階で動物を飼育する人はここからもって行ってください。
- ラベルで講座名、利用者名を確認して下さい。

2階の購入動物置場



- 2階209号室に購入動物置場を設けてあります。
- 旧棟2階、新棟4階で動物を飼育する人はここから動物をもって行ってください。
- ラベルで講座名、利用者名、動物を確認して下さい。

ダムウェーターの使用法（旧棟）



• 人が乗ってはいけません

- 施設にはエレベーター1台とダムウェーター2台があります。
- ダムウェーターは荷物運搬用です。
- **緑のボタンを押して電源を入れてください。**
- パネルの表示がダムウェーターの現在位置、黄色のボタンが現在いる階を示しています。
(ダムウェーターがある階のドアしか開きません)
- 扉を開け、運搬物を収容し、扉を閉めて、行き先階のボタンを押します。
(扉をしっかりと閉めませんと作動しません)
- 行き先の階で運搬物を取り出したら、扉をしっかりと閉めてください。
(しっかりと閉待っていない場合、ブザーが鳴ります)

ダムウェーターの使用法（新棟）



- ・施設にはエレベーター1台とダムウェーター2台があります。
- ・ダムウェーターは荷物運搬用です。
- ・パネルの表示がダムウェーターの現在位置、黄色のボタンが現在いる階を示しています。

(ダムウェーターがある階のドアしか開きません)

- ・扉を開け、運搬物を収容し、扉を閉めて、行き先階のボタンを押します。

(扉をしっかりと閉めないと作動しません)

- ・行き先の階で運搬物を取り出したら、扉をしっかりと閉めてください。

(しっかりと閉待っていない場合、ブザーが鳴ります)



・人が乗ってはいけません

共通実験室①



- 動物実験施設内の共通実験室は、4部屋あります。
212、213、332、333号室
- 局所排気装置は、212、332、333号室にあります。
- 利用する際は、研究設備データベースでweb予約をしてください。
[ログイン | 浜松医科大学 研究設備データベース \(hama-med-red.jp\)](http://hama-med-red.jp)
- 共通実験室に機器や薬品等を持ち込む際は、講座名をご記入ください。

共通実験室②



- 実験室に入室する際は、サンダルを実験室用のサンダルに履き替えてください。
- ごみは学内のルールに従い分別し、廃棄してください。動物の飼料やチップは実験室のごみ箱ではなく、洗浄室の専用ごみ箱に廃棄してください。 [浜松医科大学医療廃棄物処理センター](#)
- 実験室の利用後は、清掃をお願い致します。



マウス飼育室



- ・ 飼育ケージは専用のラックに整列して置いてください。
- ・ ケージ交換等の作業後は、飼育室を清掃してください。



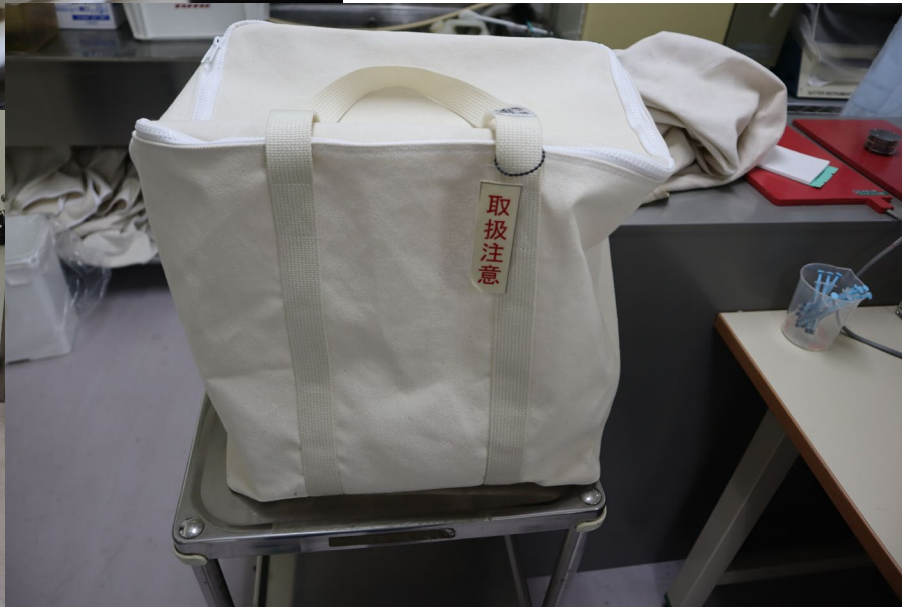
- ・ ケージには、動物の逸走防止・地震時の滑落防止のため、ケージバンドを付けてください。
- ・ ケージバンドは3種類あります。(小ケージ用、中ケージ用、ラットケージ用)

マウスケージ交換



- マウスのケージから給水ビンを外します。
- 棚から作業台にマウスケージ移してください。
- ほうきで飼育棚の掃き掃除してください。
- マイクロカットにつけた雑巾で飼育棚のふき掃除をしてください。
- 新しいケージにマウス移してください。その際にラベルの移動も忘れないようにしてください。
- 給水ビンを指して飼育棚にケージを戻してください。
- 最後に飼育室の床を掃き、その後、マイクロカットにつけたモップで拭き掃除をしてください。

実験動物（ラット・マウス）の運搬



- マウスやラットを運搬する際は、密閉でき、かじられても簡単に穴が開かないような袋に入れて、運搬してください。
動物を絶対に逸走させないようにしてください。

- 運搬袋は利用者でご準備ください。



使用済みケージの運搬



- 使用済みのケージを運搬する際は、ケージを台車に乗せて台車カバーをかけるか、滅菌袋に入れて、袋の口を縛ってください。
- ケージ内の汚れたチップが廊下や階段等に飛散しないようにしてください。

実験動物（ラット・マウス）の捕獲用



- 各階の廊下に捕獲用の網を設置しています。逃亡時の捕獲用に使ってください。
- 209号室、301号室に捕獲用のネズミホイホイを設置しておりますので、飼育室内で逃亡したとき等にお使いください。

洗浄室の利用について



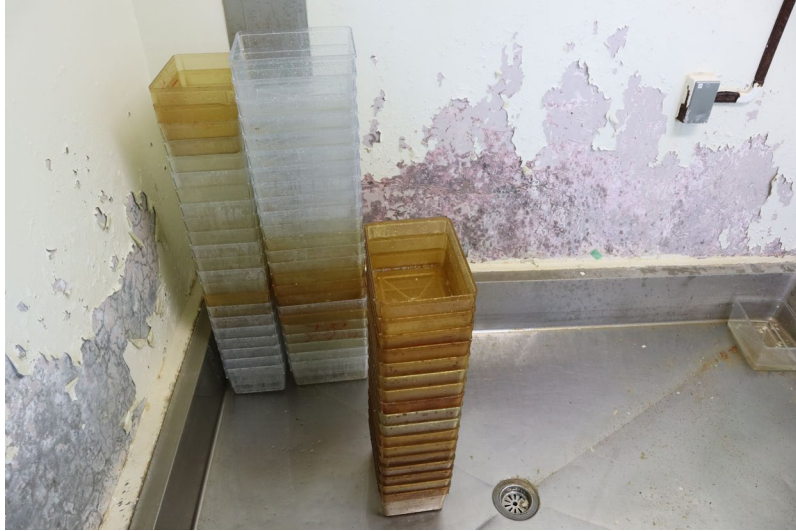
- 洗浄室は1階にあります。
- 洗浄室では、手袋、マスク、キャップ、白衣等を着用して作業を行ってください。
- 洗浄室専用のサンダルあるいは長靴を履いて下さい。

給水ビン、ふた、チップの処理について



- 汚れたチップはバケツの中に入れて下さい。バケツがいっぱいになったら、袋を縛って廃棄物処理室（洗浄室の向かいの部屋）に運んでください。そのまま放置しないで下さい。
- 作業終了後は、後の利用者のために清掃して下さい。
- 使用済みのフタは左上のマイクロカット入り薬液槽に入れて下さい。
- 使用済み給水ビンは洗浄室内の流しにフタと本体とを分けておいて下さい。

薬液(マイクロカット)処理について



- 使用済みケージを適当な高さに重ねて下さい。



- 消毒用スプレーのコックをたてにします。使用後はコックを元の位置にして下さい。



- 消毒用スプレーを強く握り、マイクロカットをケージに噴霧して下さい。

洗浄室での注意



- 使用済みの台車は、マイクロカットを噴霧した後、水を切っておいてください。



- 使用した滅菌袋、台車カバーは専用のバケツに入れてください。



- 滅菌袋を縛る紐は、専用のバットに入れてください。

洗浄室での注意



- ・破損しているケージ・蓋・給水瓶等は、専用のバケツに入れてください。



- ・滅菌飼料用バットは中を空にして流しに置き、水またはお湯を入れておいてください

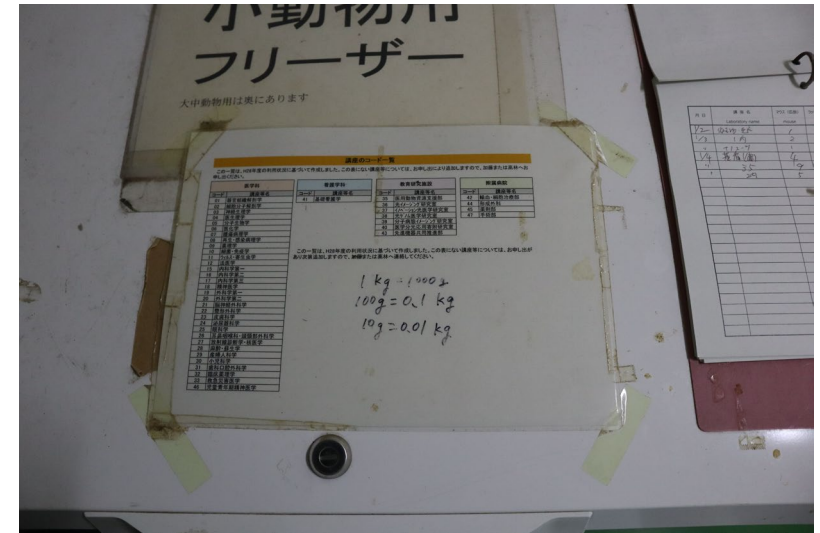


- ・使用後の白衣は、専用の返却箱に入れてください。

動物の死体の処理



- 動物の死体は、ビニール袋などに入れて、1階のフリーザーに収容してください。
- 備え付けのノートに講座名、匹数、総重量などの必要事項を記入して下さい。
- 小動物用(上)はフリーザー室入ってすぐにあります。中・大動物用(下)は奥の部屋にあります。
- 注射針等の危険物は入れないで下さい。



使用済みの段ボールとチップの処理



- 使用済みの段ボールと洗浄室から出た廃チップは、廃棄物処理室の奥の部屋に持って行ってください。
- 段ボールは専用の棚に、廃チップは床においてください。

使用済みのゴム手袋・マスク・キャップ



- 使用済みのゴム手袋・マスク・キャップは、分別しごみ箱に捨ててください。
- ごみ箱に白衣を入れないください。（白衣は専用の返却箱にご返却ください）

掲示板



- ・施設からの案内が掲示板に貼られていますので、確認してください。

